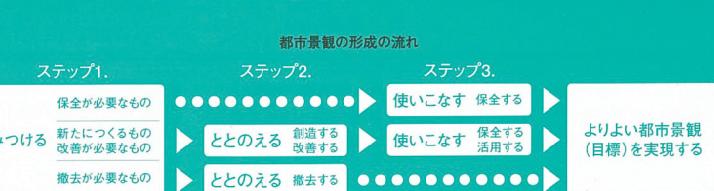
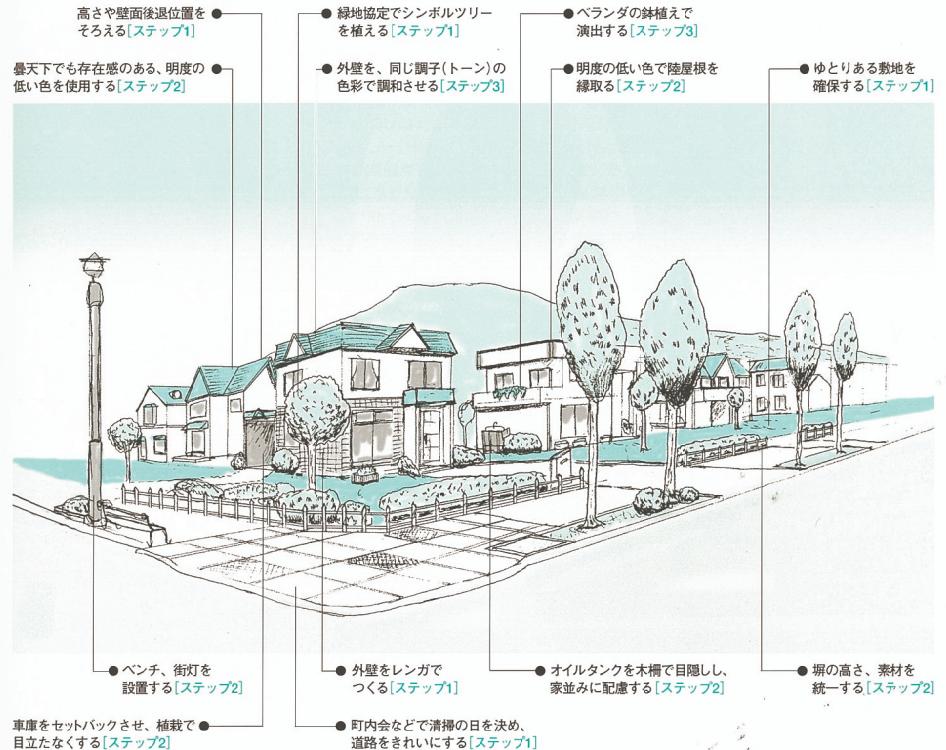


都市景観の形成は、「みつける」、「ととのえる」、「使いこなす」の3つのステップで進めます。



都市景観の形成を実現していくためには、長い時間がかかります。景観形成の実現のための手立てとして、都市景観の形成をいくつかの段階(ステップ)にわけ、その段階ごとで必要な景観形成の方策(内容)、体制(主体)、手法(手段)を定めるものとし、ここでは現実にむけた具体的な流れをしめします。

モデルケースとなるような重点地区を設定し、より具体的な方策を検討してみました。



重点地区的
都市景観の形成の
展開例(住宅地)

苫小牧で都市景観の形成を具体的に進めしていくために、①「新たな開発整備に伴い良好な都市景観の形成が可能な地区」、②「将来にわたって苫小牧市の都市活動

の拠点となる地区」、③「都市景観として積極的に保全活用をはかる地区」について重点地区を設定します。ここでは、「みつける」「ととのえる」「使いこなす」の3つ

のステップをふまえながら、より詳しい景観形成の方策を検討してみました。

都市景観形成の実現を図るために、 3つの施策を柱として進めます。

- ①公共による景観形成の先導的な推進
- ②景観形成に係る関連施策の推進
- ③都市景観要綱(条例)の制定検討

①公共による景観形成の先導的な推進
美しい都市景観の形成を実現するためには、市民のみなさんの理解や協力が不可欠です。そのためには、景観資源を身近で見つけたり、実現可能なことから景観形成に参加するなど、市民がつね日頃から都市景観に関心をもち、景観形成に身近に接することが大事です。
市街地で展開される、都市景観への影響の大きい公共事業や公共性の高い事業のうち、景観形成のモデルとなる事業については、都市景観ガイドプラン、ガイドラインにもとづいた事業展開をはかり、公共による先導的な景観形成の推進に努めます。

②景観形成に係る関連施策の推進
景観形成は、自然環境保全、緑化推進、開発行為、建築確認、屋外広告物規制、サイン案内板掲示など既存の制度とも密接な関連があります。
これら既往制度とも連携協力することで景観形成を効果的効率的に推進できるものについては、それら関連施策との連携を密にし、総合的な景観形成の推進に努めます。

③都市景観要綱(条例)の制定検討
市民、事業者、公共が協力し、都市景観の形成について継続的に取り組むためには、景観資源の発掘、ガイドプラン、ガイドラインにもとづく助言、景観形成に係る市民の啓発や事業への参加を促すなど、景観形成の手順やルールづくり、土俵づくりとなる「仕掛け」が必要となります。
住民や事業者にとって景観形成が身近なものとなるよう、都市景観要綱(条例)の制定や行政の総合的な体制づくりについて、検討をはかるものとします。

計画策定のあらまし



■苦小牧市都市景観形成基本計画の策定を終えて

都市景観委員会では、平成8年度の苦小牧市都市景観ガイドプラン・基本理念・目標・方針にもとづいて、平成9年度には苦小牧らしい都市景観の創出・展開をはかるガイドラインを策定、平成10年度には苦小牧の都市景観形成上の重点地区を定めて地区的景観形成のガイドプランを策定し、実現のためのシナリオと施策をとりまとめ、3年間にわたる委員会審議を終了しました。

その間、5回の市民ワークショップを通じて市民の計画立案への参加をはかり、計画内容への組み込みに努めてまいりました。

都市の景観は歴史的、文化的所産として、そこに生活する人々の居住環境を形成しています。歴史的所産の薄い道内諸都市にあっては、戦後の生活文化を反映した景観-自己中心的な、自分の敷地内のみを志向した空間形成の集積として存在しています。

“まちなみ”を形成する外部空間、それは“まち”と“建築”を媒介する空間であり、豊かで魅力的な外部空間は時代をこえて存在することを歴史的なまちなみに見出すことができます。その魅力は2点あり、一つは空間の構造的な明確性と個性が人々のイメージとして記憶に残り、もう一つは空間の表層が魅力的に出来ていることにあると考えられています。

この二つは、ちょうど文章における文法と修辞の関係に似ています。この空間の文法と修辞についてのアウトラインが本計画の意味と役割といえましょう。したがって、その現実にむけては地域に生活する各主体-住民・企業・行政-の協力体制が必要になります。

いわば苦小牧市都市景観形成のスタートラインに立ったわけで、その実現にむけた進め方について市に次の3点を要望いたしました。

- 1) 都市景観形成の理念の市民への啓蒙と普及
- 2) 都市景観形成のモデルとしての市街地開発事業
- 3) 都市景観形成を進めるための体制づくりや制度の確立

これらの要望も、自らのまちなみ形成の文法と修辞について地域住民の主体的な意識と努力-共生・共育・共創の生活文化-が地域に根付いてはじめて実り豊かなものとなるでしょう。委員の皆様には次のステップでの積極的なアクションを期待しています。

平成11年3月

苦小牧市都市景観委員会 座長 上田陽三

30

■苦小牧市都市景観委員会名簿

氏名	職業・役職	氏名	職業・役職
座長 上田陽三	北海学園大学工学部 教授	小林 充	茶房「樹林」 店主
副座長 田口正平	岩倉土地開発株式会社 代表取締役社長	高嶋 浩	王子製紙株式会社苦小牧工場 参与工場長代理
秋山登美子	女性センターサークル協議会 会長 市民活動団体「ウイング」代表	橋場 光	株式会社CIS計画研究所 取締役研究部長
伊藤久美子	主婦	日向 恒子	主婦
大澤昭雄	有限会社大澤電機商会 代表取締役社長	野村昌信	北海道 室蘭土木現業所 事業部長(平成8年度委員)
大槻泰夫	北海道コード設計株式会社 代表取締役	宮川英二	北海道 室蘭土木現業所 事業部長(平成9年度委員)
川辺マリイ	主婦	秋山俊一	北海道 室蘭土木現業所 事業部長(平成10年度委員)
菊地綾子	イラスト・デザイン業	森 隆雄	苦小牧市 土木部長 (平成8,9年度委員)
工藤 功	有限会社藤広芸 代表取締役	大下 熊	苦小牧市 都市建設部長 (平成10年度委員)

(敬称略:職業・役職は委嘱時のもの)

■計画策定の経過

	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度
具体的な作業	・都市景観の現況、市民意識の把握	・都市景観ガイドプラン(基本計画)の策定	・都市景観ガイドライン(形成指針)の策定	・都市景観重点地区ガイドプランの策定
市民参加のプロセス	・苦小牧市の都市景観に対するアンケート調査の実施	・都市景観ガイドプラン(基本計画)市民向けパンフレットの作成、配布	・市民ワークショップの開催(7月・9月、計2回)	・市民ワークショップの開催(7月・8月、計3回)
委員会等			・市民ワークショップ開催結果冊子の配布	・市民ワークショップ開催結果冊子の配布
			・都市景観ガイドライン(形成指針)市民向けパンフレットの作成、配布	・都市景観形成基本計画作成
			・都市景観委員会の設置	・都市景観委員会(5月・11月・2月、計3回)
			・都市景観委員会(8月・11月・2月、計3回)	・推進会議※(5月・11月・1月、計3回)
			・推進会議※(7月・8月・10月・1月、計4回)	・都市景観の形成に関する提言(都市景観委員会から市長へ)

※市役所内の関係課長による連絡調整の会議

都市景観市民ワークショップの活動



平成9年度第1回都市景観市民ワークショップ

●開催日：7月6日／参加者数：42名／テーマ：宝ものさがし、アイデア合戦
7つのテーマごとにテーブルをわけて、景観のよいところを「宝の地区」にしたり、「景観づくりのアイデア」について意見交換を行い、テーブルごとに成果を発表しました。

港湾海岸景観づくりのためのアイディア	
順位	内容
1位	「フリートラックから道路を使い、港は基础设施に適応して駐車場や施設を整備する」
2位	「シーサイドストリートの沿線のまちづくり」
3位	「公共空間（公園）の整備」
4位	「自然環境の保全」
5位	「海岸公園（夜景）」
6位	「スリーティミル」
7位	「北・南岸壁」
8位	「海岸を見下す丘」
9位	「自然の海岸」
10位	「陸橋」
11位	「朝日」
12位	「有明海峡」
13位	「緑山公園」
14位	「市方駅西片」
15位	「雪景色」
16位	「いすゞの英文字」
17位	「空からのおけいこ」
18位	「海岸の花火」
19位	「海岸の花火」
20位	「海岸の花火」
21位	「海岸の花火」
22位	「海岸の花火」
23位	「海岸の花火」
24位	「海岸の花火」
25位	「海岸の花火」
26位	「海岸の花火」
27位	「海岸の花火」
28位	「海岸の花火」
29位	「海岸の花火」
30位	「海岸の花火」
31位	「海岸の花火」
32位	「海岸の花火」
33位	「海岸の花火」
34位	「海岸の花火」
35位	「海岸の花火」
36位	「海岸の花火」
37位	「海岸の花火」
38位	「海岸の花火」
39位	「海岸の花火」
40位	「海岸の花火」
41位	「海岸の花火」
42位	「海岸の花火」



平成10年度第1回 都市景観市民ワークショップ

●開催日：7月31日／参加者数：42名
テーマ：都市景観の目標像づくり

重点地区のよいところ(宝もの)、わるいところ(困りもの)を自然系、歴史・文化系、社会活動系にわけてキーワード化し、主要目標と個別目標について討議しました。



平成10年度第2回都市景観市民ワークショップ

31

この『苦小牧市都市景観形成基本計画』は、市民のみなさんの声からうまれてきました。

32



平成9年度第2回都市景観市民ワークショップ

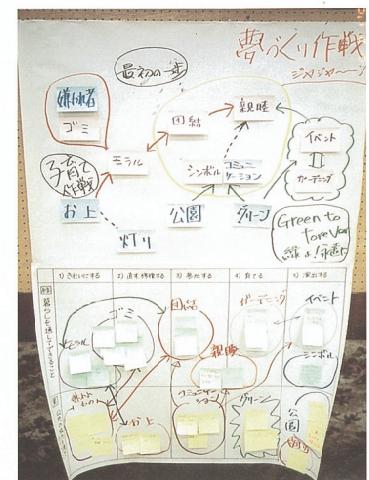
●開催日：9月7日／参加者数：30名／テーマ：まちづくりゲーム
「まちづくりゲーム」のかたちで地区ごとに景観形成の具体的な手法やアイデアを地図上に書き込み、その中からベスト5を選びました。

第1位	水量の確保水槽の健全化
第2位	公園施設と連携した緑化
第3位	ワカツ堤の造成及び草地化
第4位	魚(マダラ・シマ等)の放流
第5位	自然生態系の保全



平成10年度第3回都市景観市民ワークショップ

●開催日：8月21日／参加者数：38名／テーマ：都市景観形成のプログラムづくり
前回考えた重点地区の「都市景観の目標像」を実現するために、暮らしを通してできること、公共とともに使う景観づくりのアイデアなどを話し合い、図表にまとめました。



苫小牧の都市景観資源

